

平成 20 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 川島 敦
(コード番号: 4321 東証一部)
問い合わせ先 取締役 CFO 吉川 泰司
電 話 番 号 (03) 3519-2530

コミットメントラインの設定について

当社は平成 20 年 9 月 30 日付で、三井住友銀行をアレンジャーとするシンジケーションにより、214 億円のコミットメントラインを設定いたしましたのでお知らせします。

記

1. コミット金額 21,400,000,000 円
2. コミット期間 平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日
3. 資金使途 不動産取得資金
私募ファンドや REIT に提供する物件の、自己勘定による先行取得資金に充当します。
4. アレンジャー 三井住友銀行
5. エージェント 三井住友銀行
6. 参加金融機関 計 9 社
7. 特 徴 等 取得物件を特定しないコミットメントラインであり、機動的な物件取得に寄与します。

サブプライム問題に端を発する金融の収縮から、昨今の不動産投資市場における資金調達環境は急激に悪化しています。しかし、当該環境においても、当社グループでは私募ファンドの組成や上場 J-REIT の成長を着実に実現しており、今後も AM 事業拡大のために安定的に投資物件を確保していく必要を認識しております。今般の契約によって獲得したコミット枠は、投資機会に引き続き柔軟に対応していくため、本年 3 月に組成した 213 億円のコミットメントラインとあわせて、慎重かつ有効に活用してまいります。

本件コミット枠は毎年更新を重ねているものですが、本年度の継続にあたっては、昨年度の契約に対して規模を縮小することとなりました。しかしながら、不動産業向けシンジケートローン市場が極めて低調に推移する中、物件を特定しないコミットメントラインはとくに希少な例となっており、200 億円を超える金額で更新に至ったこと自体が、当社に対する金融機関からの信頼を裏付けるものと捉えております。また、不動産関連企業の破綻が相次ぐ中での組成でしたが、より当社の財政状態を理解している借入額上位の親密金融機関がすべて継続いただいたことで、市場環境に左右されない取引関係を維持・証明できたことに対して前向きな評価をしています。

尚、本件コミット枠の縮小に伴い、返済が生じるものではありません。

以 上